

## シンポジウム 3

### 肝癌診療の現状と展開

第 1 日 12 月 12 日 (木) 15:10~17:40

第 2 会場 (海峡メッセ下関 10F 国際会議場)

司会 鳥村 拓司 久留米大学医学部内科学講座消化器内科部門  
 山崎 隆弘 山口大学大学院医学系研究科臨床検査・腫瘍学  
 総括 工藤 正俊 近畿大学医学部消化器内科学

※一部総合討論形式

- SY3-1 高感度 SEPT9 メチル化解析法による肝癌診断の有用性  
 山口大学大学院医学系研究科消化器内科学 佐伯 一成
- SY3-2 EOB-MRI 肝細胞相で低信号を示す乏血性結節の多血化予測の検討  
 福井大学学術研究院医学系部門内科学 (2) 分野 田中 知子
- SY3-3 阻血性変化および相対的投与量の推移に着目した進行肝細胞癌に対するレンパチニブの治療成績  
 名古屋大学医学部附属病院消化器内科 葛谷 貞二
- SY3-4 進行肝癌に対する Lenvatinib の病態別, 有用性に関する多施設共同研究  
 横浜市立大学附属市民総合医療センター 中馬 誠
- SY3-5 切除不能進行肝細胞癌に対するレンパチニブの治療成績: 多施設共同研究  
 大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学 前阪 和城
- SY3-6 Dose intensity に応じた Lenvatinib の実臨床における予後改善のための治療戦略  
 長崎大学病院消化器内科 佐々木 龍
- SY3-7 実臨床データに基づく REFLECT 試験適格基準外症例に対するレンパチニブの適応拡大の可能性  
 国保直営総合病院君津中央病院消化器内科 大部 誠道
- SY3-8 切除不能肝癌に対するレンパチニブ治療後 PD 判定時の病態: 多施設共同研究  
 手稲溪仁会病院消化器病センター 田中 一成
- SY3-9 進行肝癌における骨格筋量の予後に対する影響: 分子標的治療と肝動注化学療法の比較  
 奈良県立医科大学医学部消化器・内分泌代謝内科 高木 宏哲
- SY3-10 高度進行肝細胞癌に対する 1 次治療としての腫瘍栓への放射線療法併用肝動注化学療法  
 広島大学病院消化器・代謝内科 河岡 友和
- SY3-11 分子標的療法の時代における up to 7 基準外の進行肝細胞癌に対する New FP 療法の役割  
 久留米大学医学部内科学講座消化器内科部門 新関 敬

- SY3-12 高度脈管侵襲 (Vp3,4 および Vv3) を伴う肝細胞癌に対する切除を中心とした集学的治療  
山口大学大学院医学系研究科消化器・腫瘍外科学 松隈 聰
- SY3-13 肝細胞癌切除後症例における, DAA 治療による HCV 排除の再発治療に対する影響  
大垣市民病院消化器内科 犬飼 庸介

※ 「SY3-3~8」に関して, SY3-8の後に15分間, 「SY3-9~12」に関して, SY3-12の後に20分間, 総合討論を設けます.  
各発表後に質疑時間は設けません.